

桐生商工会議所管内  
景況調査報告書

第151回

(2025年10～12月期)

令和8年1月

桐生商工会議所

桐生中小企業相談所

# 調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。
2. 調査時点 2025年12月1日
3. 調査期間 2025年10～12月期
4. 調査対象企業数 374企業（うち回答企業数133企業）
5. 調査対象業種
- ①建設業（回答企業数17企業）  
建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他
- ②商業・サービス業（回答企業数57企業）  
卸売業、小売業、飲食業、サービス業
- ③製造業
- 機械金属関連業（回答企業数28企業）  
鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他
- 繊維工業（回答企業数31企業）  
撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d e x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

## 1. 景況の動き

### 【業況DI】

今期の業況DIは、全体で**-29**。前期（-24）比は-5ポイントとなった。また前年同期（-25）比では-4ポイントとなった。

業種別では、**建設業-41**（前期比-12、前年同期比-24）、**商業・サービス業-30**（前期比-1、前年同期比+12）、**機械金属製造業-29**（前期比-29、前年同期比-42）、**繊維製造業-20**（前期比+11、前年同期比+5）となっている。

### 【採算DI】

今期の採算DIは全体で**-34**。前期（-28）比は-6ポイント、前年同期（-31）では-3ポイントとなった。

業種別では、**建設業-47**（前期比±0、前年同期比-25）、**商業・サービス業-32**（前期比±0、前年同期比+18）、**機械金属製造業-33**（前期比-33、前年同期比-50）、**繊維製造業-32**（前期比-1、前年同期比+4）となっている。

### 【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で**-24**。前期（-22）比では-2ポイント、前年同期（-21）比では-3ポイントとなった。

業種別では**建設業-31**（前期比-2、前年同期比-18）、**商業・サービス業-21**（前期比-1、前年同期比+15）、**機械金属製造業-42**（前期比-35、前年同期比-72）、**繊維製造業-12**（前期比+21、前年同期比+20）となっている。

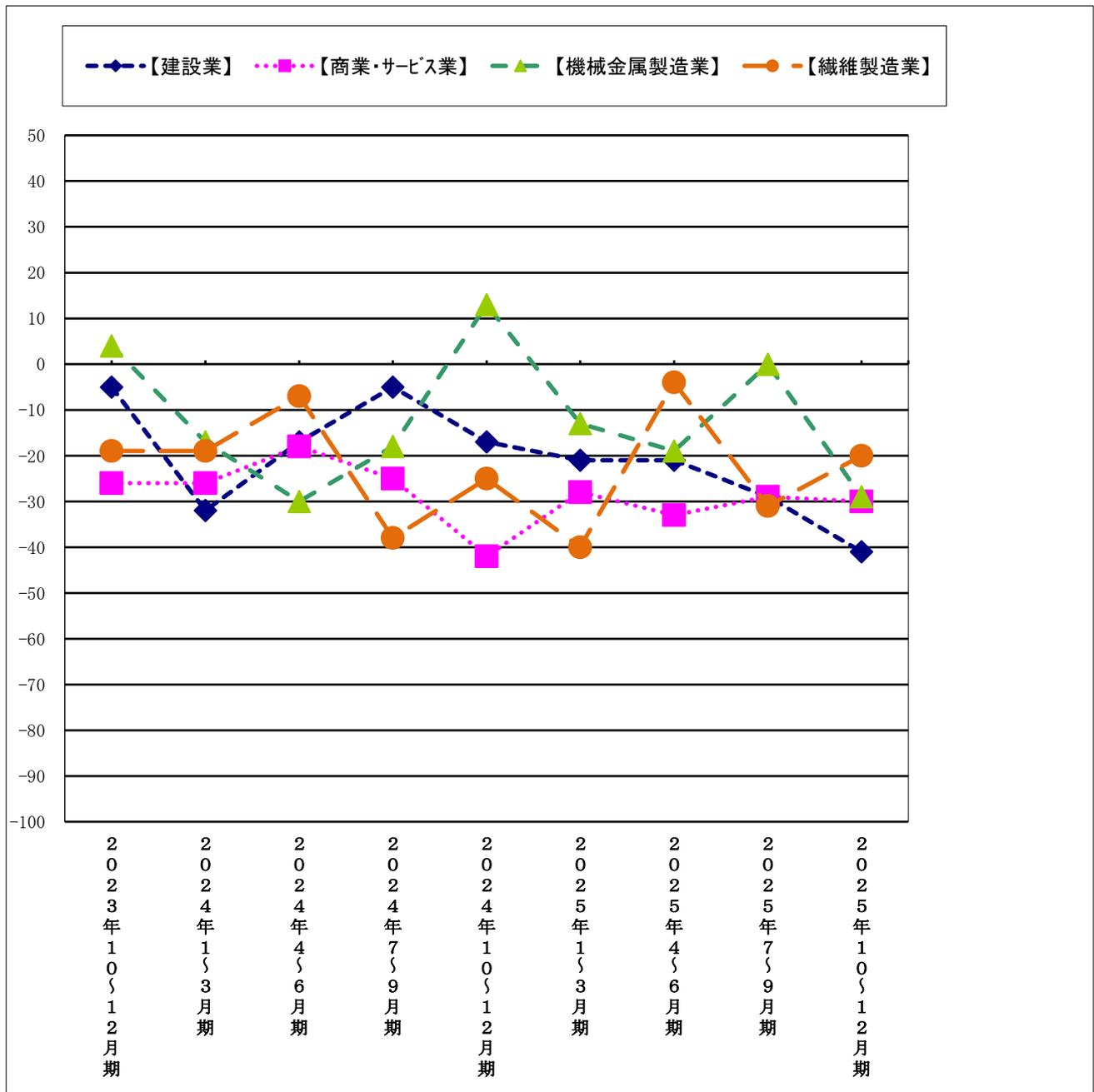
### 【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「従業員の確保難」（19.6%）、「官公需要の停滞」（15.2%）、**商業・サービス業**では「材料等仕入単価の上昇」（16.8%）と「需要の停滞」（12.8%）、**機械金属製造業**では「人件費の増加」（17.1%）、「原材料価格の上昇」（15.8%）、**繊維製造業**では「生産設備の不足・老朽化」（20.2%）、「原材料価格の上昇」（15.7%）が上位となっている。

## 業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2023年10～12月期	-5	-26	4	-19
2024年1～3月期	-32	-26	-17	-19
2024年4～6月期	-17	-18	-30	-7
2024年7～9月期	-5	-25	-18	-38
2024年10～12月期	-17	-42	13	-25
2025年1～3月期	-21	-28	-13	-40
2025年4～6月期	-21	-33	-19	-4
2025年7～9月期	-29	-29	0	-31
2025年10～12月期	-41	-30	-29	-20

[2023年10～12月期] から [2025年10～12月期]



## 2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

### 【建設業】

- 今期業況 今期の業況DIは-41。前期比では-12、前年同期比では-24ポイントとなった。  
業種別では、建築・大工業 [-60]、土木業 [-40]、管工事業 [±0]、鉄骨・鉄筋業 [±0]、電気工事業 [-33]、左官・屋根業 [±0]、その他 [-50] ポイントとなった。
- 来期業況 来期業況予測のDIは-31。前期比-2、前年同期比では-18ポイントとなっている。

### 【商業・サービス業】

- 今期業況 今期の業況DIは-30。前期比は-1、前年同期比では+12ポイントとなった。  
業種別では、卸売業 [±0]、小売業 [-45]、飲食業 [+11]、サービス業では [-29] ポイントとなった。
- 来期業況 来期業況予測のDIは-21。前期比-1、前年同期比では+15ポイントとなっている。

### 【機械金属製造業】

- 今期業況 今期の業況DIは-29。前期比では-29、前年同期比では-42ポイントとなった。  
業種別では、鉄鋼業 [-33]、非鉄金属業 [±0]、金属製品業 [-17]、一般機械器具業 [±0]、電気機械器具業 [±0]、輸送用機械器具業 [-29]、精密機械器具業 [±0]、プラスチック製造業 [-67]、その他 [-50] ポイントとなった。
- 来期業況 来期業況予測のDIは-42。前期比-35、前年同期比では-72ポイントとなっている。

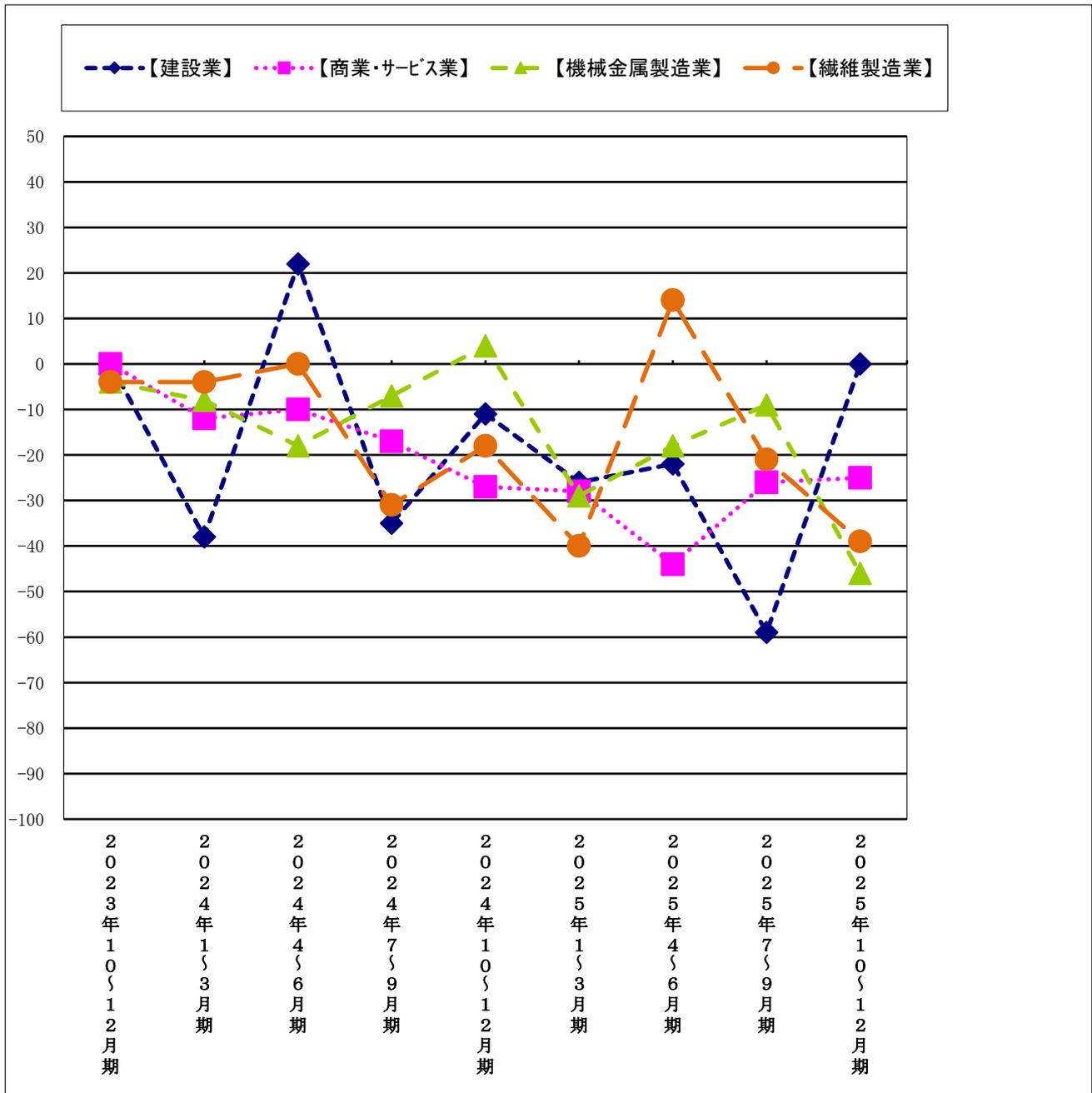
### 【繊維製造業】

- 今期業況 今期の業況DIは-20。前期比では+11、前年同期比では+5ポイントとなった。  
業種別では、撚糸業 [-100]、織物業 [-8]、染色整理業 [-75]、ニット・メリヤス業 [±0]、レース業 [+100]、縫製業 [±0]、刺繍業 [±0]、その他 [-100] ポイントとなった。
- 来期業況 来期業況予測のDIは-12。前期比+21、前年同期比では+20ポイントとなっている。

## 売上額（完成工事額）DIの推移

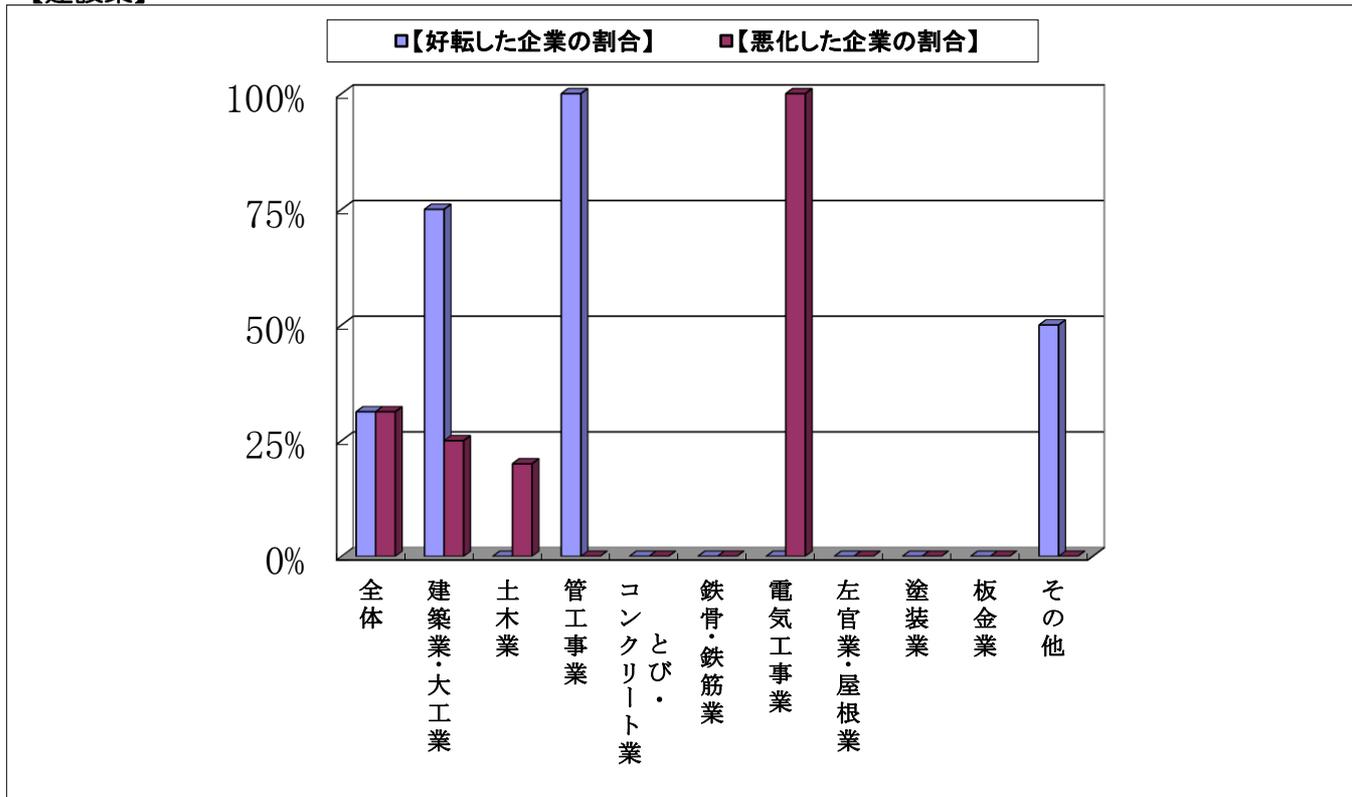
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2023年10～12月期	0	0	-4	-4
2024年1～3月期	-38	-12	-8	-4
2024年4～6月期	22	-10	-18	0
2024年7～9月期	-35	-17	-7	-31
2024年10～12月期	-11	-27	4	-18
2025年1～3月期	-26	-28	-29	-40
2025年4～6月期	-22	-44	-18	14
2025年7～9月期	-59	-26	-9	-21
2025年10～12月期	0	-25	-46	-39

[2023年10～12月期] から [2025年10～12月期]

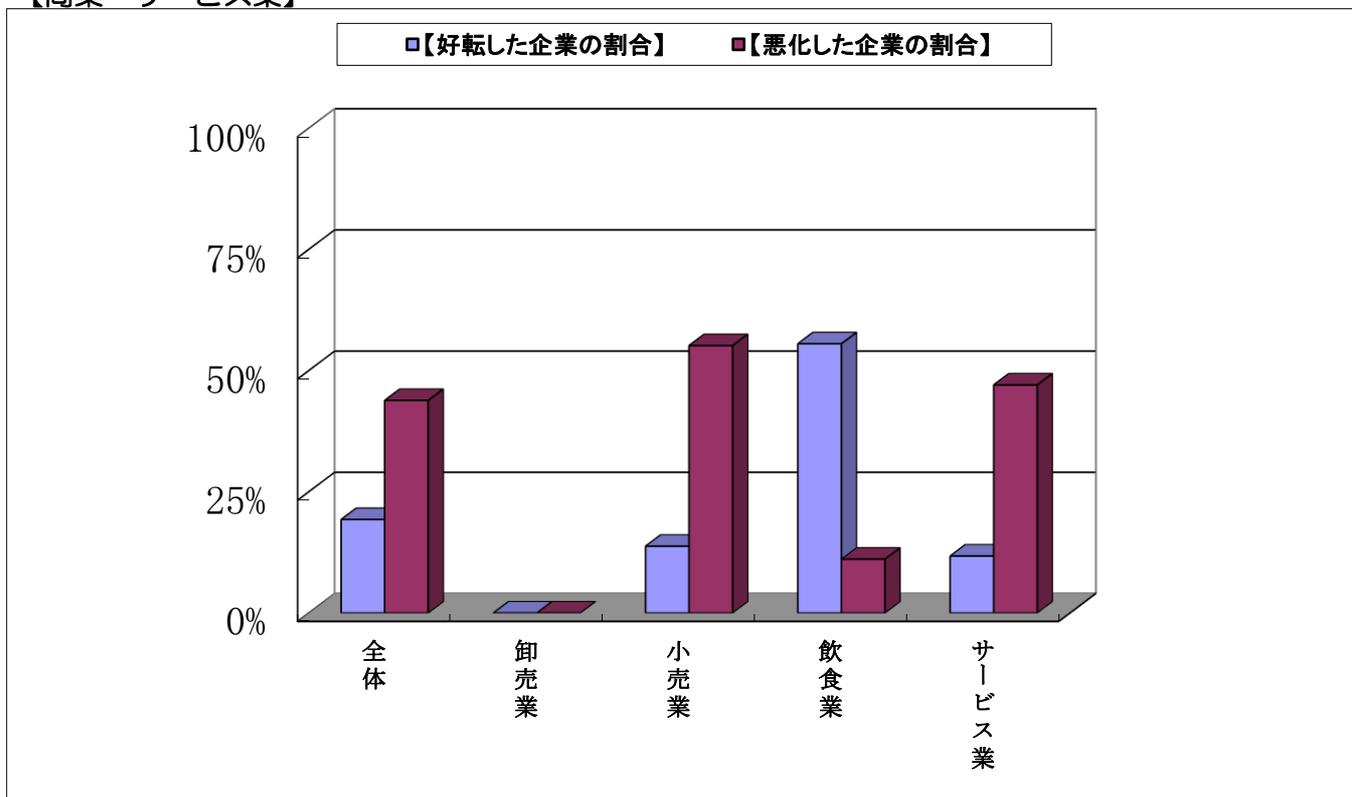


## 業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

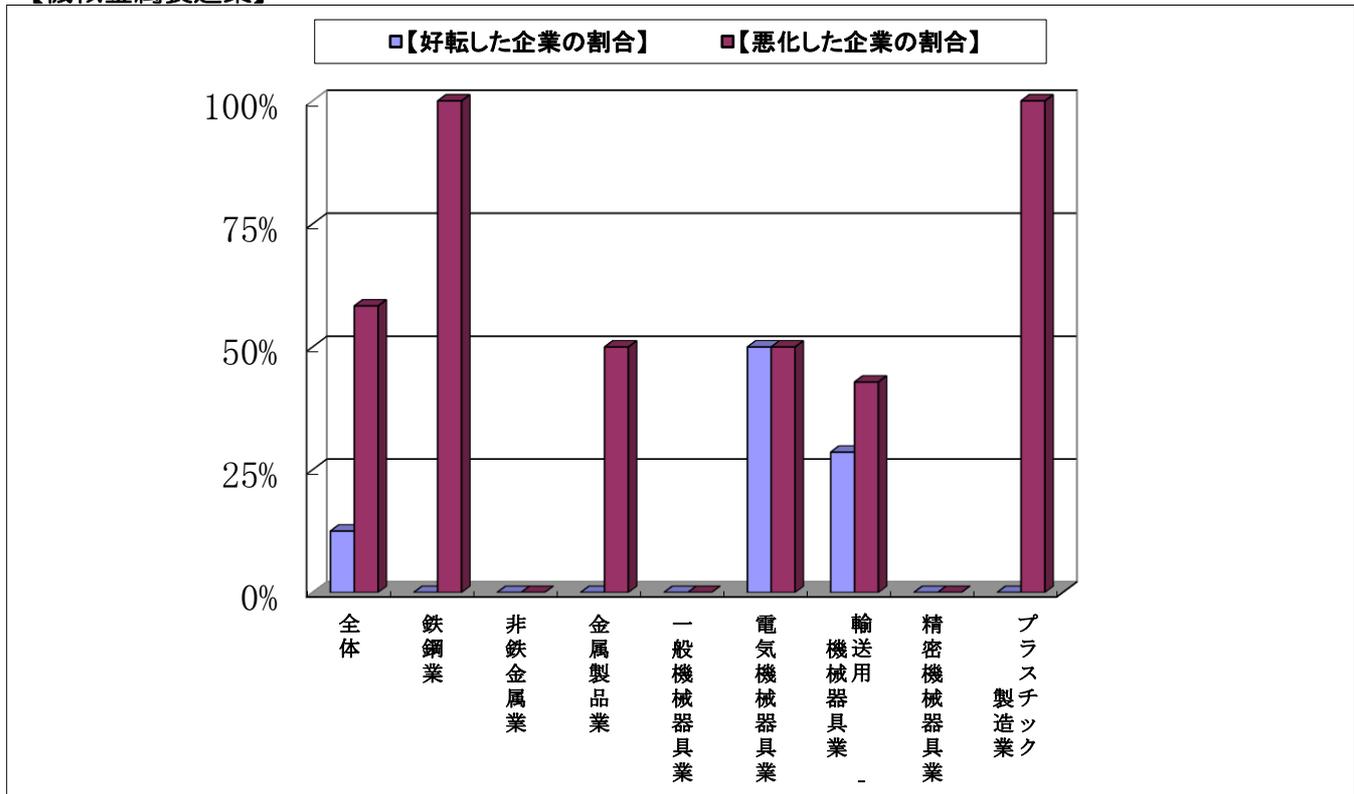
### 【建設業】



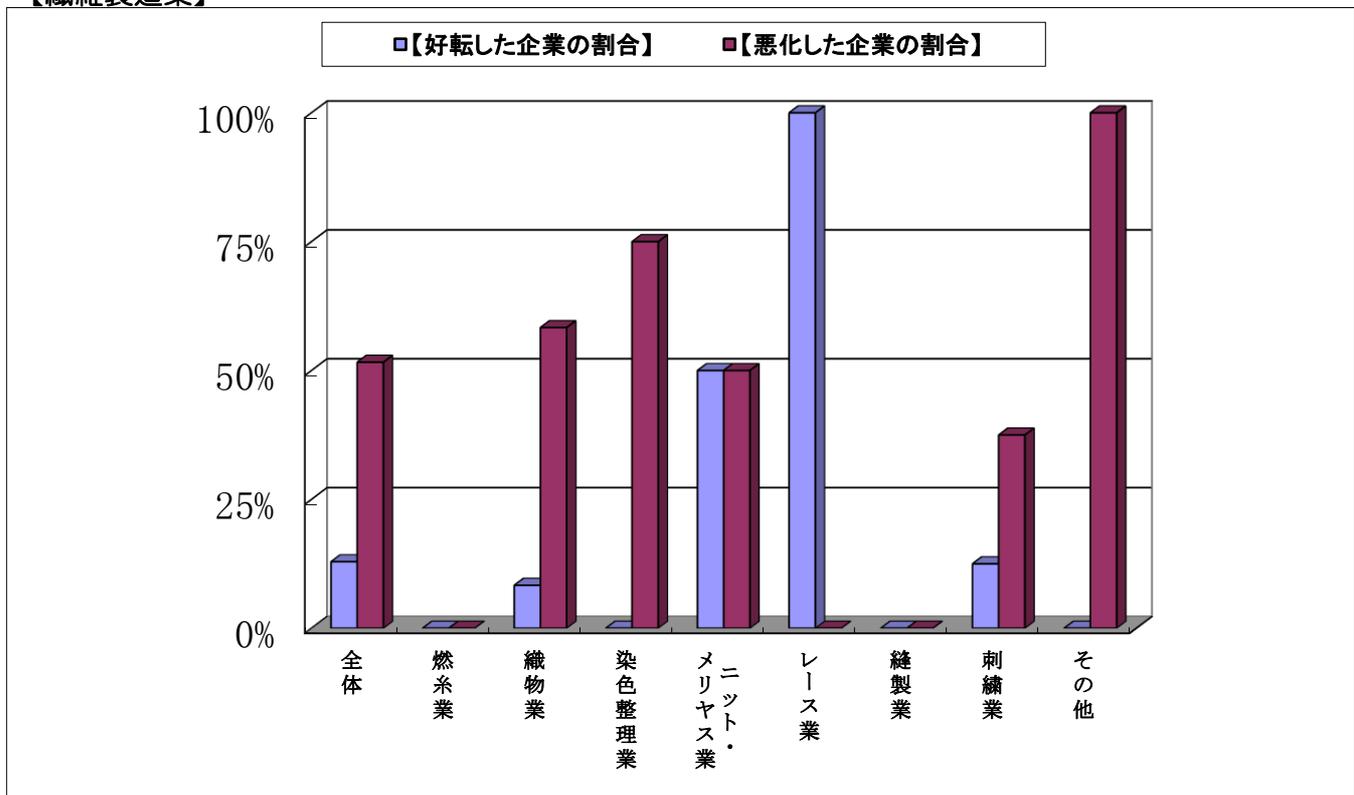
### 【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



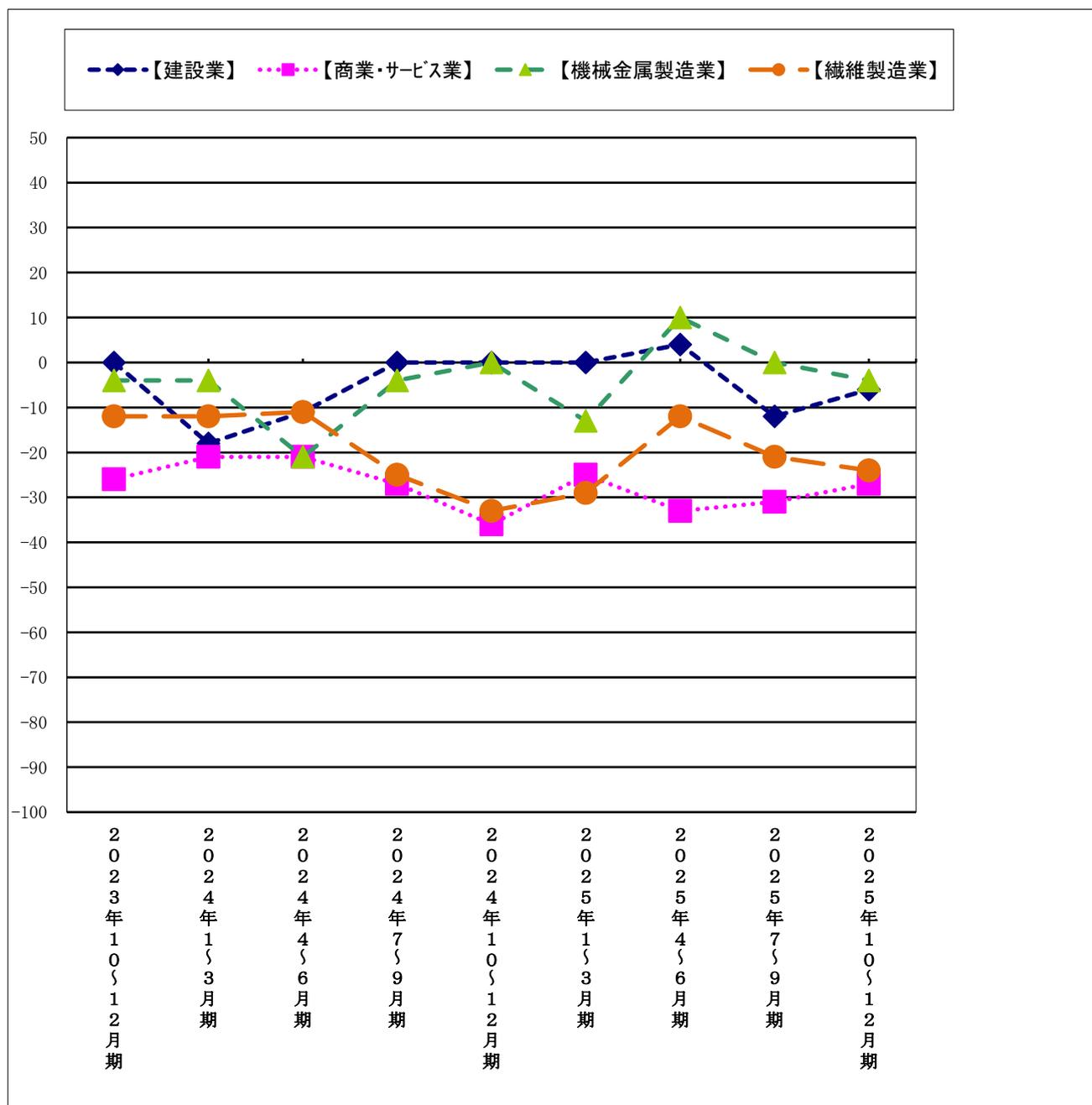
【繊維製造業】



## 資金繰りDIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2023年10～12月期	0	-26	-4	-12
2024年1～3月期	-18	-21	-4	-12
2024年4～6月期	-11	-21	-21	-11
2024年7～9月期	0	-27	-4	-25
2024年10～12月期	0	-36	0	-33
2025年1～3月期	0	-25	-13	-29
2025年4～6月期	4	-33	10	-12
2025年7～9月期	-12	-31	0	-21
2025年10～12月期	-6	-27	-4	-24

[2023年10～12月期] から [2025年10～12月期]



## 今期直面している経営上の問題点

	1位		2位		3位		4位		5位	
建設業	従業員の確保難 19.6%		官公需要の停滞 15.2%		材料価格の上昇 13.0%		熟練技術者の確保難 10.9%		人件費の増加 10.9%	
前期	2位	16.3%	3位	11.6%	1位	18.6%	5位	9.3%	7位	4.7%
前年同期	2位	18.8%	12位	2.1%	1位	20.8%	3位	12.5%	6位	6.3%
商業・サービス業	材料等仕入単価の上昇 16.8%		需要の停滞 12.8%		人件費の増加 12.8%		消費者ニーズの変化への対応 8.7%		店舗の狭隘・老朽化 7.4%	
前期	3位	12.6%	1位	14.8%	4位	9.6%	2位	13.3%	8位	5.2%
前年同期	1位	14.7%	5位	9.2%	4位	9.2%	2位	12.9%	11位	3.7%
機械金属製造業	人件費の増加 17.1%		原材料価格の上昇 15.8%		製品単価の低下・上昇難 14.5%		従業員の確保難 13.2%		需要の停滞 10.5%	
前期	1位	16.9%	3位	15.5%	5位	11.3%	2位	15.5%	4位	12.7%
前年同期	5位	9.8%	3位	13.4%	4位	11.0%	1位	19.5%	2位	14.6%
繊維工業製造業	生産設備の不足・老朽化 20.2%		原材料価格の上昇 15.7%		需要の停滞 13.5%		従業員の確保難 9.0%		人件費の増加 7.9%	
前期	3位	14.5%	1位	17.1%	2位	14.5%	9位	2.6%	4位	13.2%
前年同期	3位	11.8%	2位	17.1%	1位	21.1%	7位	6.6%	4位	10.5%

## 事業所からのコメント（直面している問題点など）

### 〔建設業〕

- 引き合いが多すぎて対応が難しい事。
- 幹部役職員が徐々に高齢化している。中堅・若手社員層が薄い。将来人手不足の深刻度が増すと思われる。
- 材料費の増加、人件費の増加、休日の増加に伴う経費が増えたため採算性がややマイナス傾向。
- 社員不足により、受注にも影響が出ている。

### 〔商業・サービス業〕

- 最低賃金の上昇は零細企業にとってはキツイ。金利の上昇も次第に厳しくなっている。小売業にとっては物価上昇＝需要停滞に表れている。
- ネット販売との競争激化。
- 今年は特に宣伝や広告を出した訳では無いのですが、お客さんの1日の人数と客単価が多くなりました。（特に7月以降）お店を初めて6年が経ち、店舗名で検索して、土日は遠方（県外）のお客様が特に増えました。（県内の方も多いです。）サンドイッチや総菜系を増やした事が良かったのではと思っています。特にお子様連れの方や健康志向の強い方がより増えました。今は細かい作業が増えたことで、手が足らなくて忙しい毎日になっております。大変ありがたい事なのですが、時給が来年から上がる事を考えると人は雇えない現状になっています。
- 仕入単価が年々上昇しており、今後のことを考えると不安が大きいです。（過去3年の間で3倍近く価格があがったものもあります。）
- 今だに人口減少に歯止めがかからず、又、家族葬向け会館が増えている中、難しい営業であるが、頑張って売上を確保している。建物の老朽化が問題である。
- 生産能力をあげるための補助金等あれば助かります。
- コロナ禍からの回復がそれ以前に戻らず、近年国の施策による売上単価の上昇があっても客数が戻らず停滞感がある。

### 〔機械金属関連業〕

- 加工数量の安定化と単価の上昇難
- ネクスperiaの半導体共有問題によるOEMの減産、及び、自社における部品確保の課題。また、米国関税負担の継続。
- 輸出関税の影響で受注減少。及び、受注変動大により生産性悪化。

### 〔繊維工業〕

- 売上が良い時に人員不足。人員を増やした時に仕事減。経験者がなかなかいないため、育成の必要あり。ボーナス支給難。
- 織物に対して後継者不足。